

在宅訪問同行研修受講者募集!!

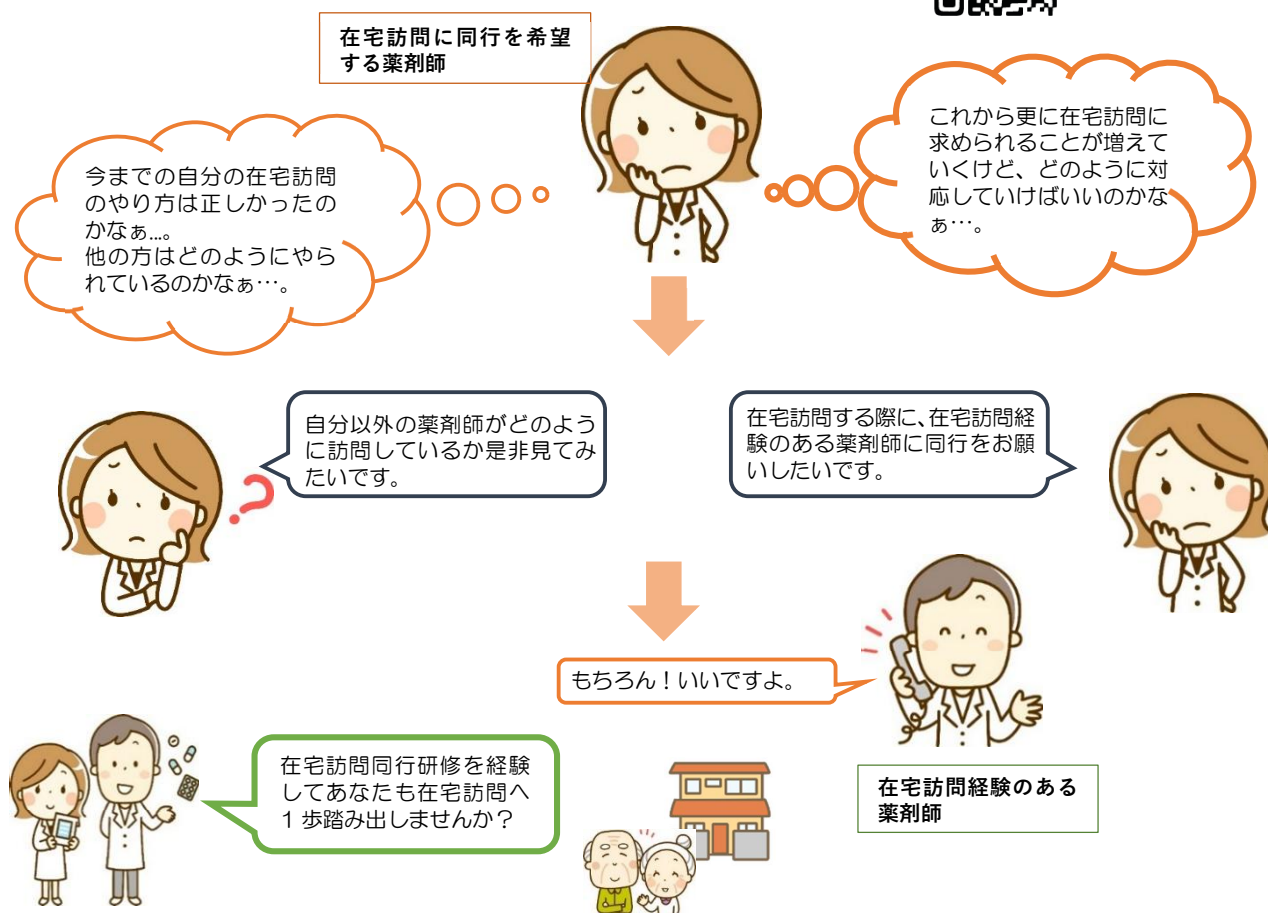
- 1 事業内容 在宅訪問の経験がある薬剤師（講師）が在宅訪問する際に、同行を希望する薬剤師（受講者）と一緒に訪問、又は、受講者が在宅訪問する際に、在宅訪問の経験がある薬剤師（講師）が同行し、OJT方式で研修を実施する。
- 2 募集期間 令和7年7月～令和8年1月
- 3 実施期間 令和7年8月～令和8年1月（訪問日等は、後日調整いたします。）
- 4 対 象 静岡県内に勤務する薬剤師
- 5 募集人数 30名
- 6 受講料 無料
- 7 申込方法 県薬剤師会ホームページ「在宅訪問同行研修」又は下記URL、QRコードからお申し込みください。（令和8年1月末日締切）

URL <https://forms.gle/7iwAQNGbJ8fYwzJeA>



- 8 問合せ先 静岡県薬剤師会事務局（担当：山澤） 電話 054-203-2023 F A X 054-203-2028
- 9 その他 終了後、「アンケート」を県薬剤師会ホームページ「在宅訪問同行研修」又は下記URL、QRコードからご回答ください。

URL <https://forms.gle/h25qNQEFouSHMAgYA>



もちろんまだ在宅訪問の経験のない方、経験の浅い方もお申し込みください！

※地域薬剤師会開催の「在宅医療に関する入門研修会」は在宅訪問を始める前の準備、訪問指導の流れなどを説明しています。

本研修受講前に、「在宅医療に関する入門研修会」の受講をお願いします。受講ができない場合は、日本薬剤師会ホームページ掲載の「在宅服薬支援マニュアル」をご一読のうえ、参加ください。

<https://www.nichiyaku.or.jp/member/kaigo/fukuyakushien>

< 受講者の研修に参加しての感想 >

自局でできることから

- ・薬局の状況が違うなかで同じように在宅を実践していくことは難しいとしても、自分の薬局でも取り入れられそうなことから在宅を実践できるようにしていきたい。

研修にもっと参加しよう

- ・在宅訪問は考えていたものよりはハードルが高くなく、他の薬局もこの研修にもっと参加すべきだと思いました。

患者さんのための在宅訪問

- ・私は今まで、在宅訪問を始めることに対して消極的でした。今回、同行させていただき、訪問先の患者さんがとても喜んでおり、担当の薬剤師の先生の対応がとても役に立っていると感じました。

なかなか、そこまで親身に対応できるかわかりませんが、これからは少しずつ、在宅訪問が必要と思われる患者さんには、働きかけていきたいと思います。”

多職種との連携

- ・他の薬局の在宅訪問の様子を見る機会はなかなかないので貴重な機会となった。薬剤師と患者の一对一の関係だけでなく、ケアマネジャー、患者家族、訪問看護、地域包括など患者に関わる全員と情報を共有していく姿勢が大切だと感じた。

自分のやり方が間違っていなかったと再確認

- ・在宅業務を初めて 10 年以上経過しましたが、自分のやり方が古いものではないか、別のやり方もあるのではないかと疑念を抱くこの頃でした。今回訪問同行を行い、基本的な部分では他の方と変わりなく行えているのかなと感じています。アプローチの仕方に正解があるのではなく、いろんな薬剤師の関わり方があって良いとも感じています。当社でも基本的には 1 患者 1 薬剤師が対応していますが、複数人で担当しながらより良い提案やアプローチをするのも良いかなと感じています。

医師の往診に同行して

- ・施設と個人宅の違いを把握できました。個人宅の在宅患者では、個々に管理する方法が異なっており患者様個々に適した剤形などを提案することの重要性が理解できました。また、医師の往診同行に薬剤師が同行することにより患者様と信頼関係もうまれ患者様の治療方針に大きく関与することが理解できました。以上の内容により、私は施設の経験しかありませんでしたが、在宅患者様への重要性やニーズに関して再度実感することができて貴重な時間になりました。

他の薬剤師の取り組みを学べる

- ・在宅訪問を既に実施している薬剤師でも他の薬剤師の取り組みを学べる貴重な機会なので是非研修を受けてほしいと感じた。